

# 故事成語 1

故事成語の意味がわかる

月 日  
名 前

■ 次の故事成語とその意味を、それぞれでむすびまじょう。

(1)

矛盾 むじゆん

つじつまが合わないこと。

(2)

五十歩百歩 ごじっぼひゃっぼ

苦勞して勉強をした成果。

(3)

螢雪の功 けいせつこう

どちらも大きなちがいはないこと。

(4)

圧巻 あつかん

激しくおこること。

(5)

怒髪天をつく どはつてん

たいへん苦しく悲しいこと。

(6)

背水の陣 はいすいじん

ほかと比べて、特にすぐれていること。

(7)

断腸 だんちやう

一歩もあとにひけない状態で、全力で取り組むこと。





# 故事成語 2

故事成語の意味がわかる

月 日  
名 前

■ 次の意味にあてはまる故事成語を  から選んで記号で書きましよう。

(1) 「一面の緑色の草むらの中に赤い花が一輪だけさいている」という詩の一節から、たくさんさんの男性の中に女性が一人だけいること。

(2) おいしい食べ物が食べられるときに人さし指が動く人物の話から、食欲がおこったり、何かをほしいと思ったりすること。

(3) 熱い汁物を食べてやけどをした人が、冷たいあえ物を食べる時にも用心して息をふいて冷まそうとしたという話から、失敗にこりて必要以上に用心深くなること。

(4) ある美しい女性が病気に苦しみ、まゆをひそめて歩くのを美しいと思った別の女性が、まねをしてまゆをひそめて歩いた。しかし、周りの人によがられたという話から、よいか悪いか考えずに、むやみに人のまねをすること。

(5) 竹の最初の一節をわると、あとは勢いよくわれていくということから、だれにも止められないくらい勢いが激しい様子。

(6) 黄河という川の上流に「竜門」という流れの急なところがある。そこをのぼることができたコイは竜になれるという伝説から、そこをくぐりぬければ出世したり成功できたりする難しい試験や審査を指している言葉。

(7) 気に入らない人には白眼で応対し、気に入った人には青眼で応対した人物の話から、人を冷たい目つきで見たり、冷たくあつかったりすること。

- |   |           |   |       |   |     |
|---|-----------|---|-------|---|-----|
| ア | ひそみにならう   | イ | 白眼視   | ウ | 紅一点 |
| エ | 食指が動く     | オ | 破竹の勢い | カ | 登竜門 |
| キ | 羹に懲りて膾を吹く |   |       |   |     |



故事を読んで、その故事からできた言葉がわかる

月 日  
名 前

■ 次の話をもとにしてできた言葉から選んで記号で書きましよう。

(1) シギという鳥が、貝を見つけて食べようと思いました。貝は食べられたいので、貝がらでシギのくちばしをはさみしました。シギは貝を食べたいのでくちばしをぬきません。貝も食べられたいので、シギのくちばしをしっかりとさんではなしません。おたがいに、そのままの状態がまん比べをしていると、漁師が通りかかりました。

「こんなところにシギと貝がいるぞ。」  
漁師は、シギと貝のどちらもつかまえてしまいました。

(2) 秦という大国の王様が、趙という国の王様に、「趙の国の宝物である『壁』と十五の城を交かんしよう」と持ちかけてきました。しかし、趙の使者が「壁」を持って秦に向き、秦の王様と話をしたところ、「十五の城と交かんしよう」という話はうそで、「壁」だけをうばいとうとうとしていることがわかりました。そこで使者は、命がけて「壁」を守りきり、ついに完全な状態で趙に持ち帰ることに成功したのです。

(3) 杞という国に、天が落ちてきたり地がくずれたりして、身の置きどころがなくなることを心配する人がいました。そして、心配のあまり、夜もねむれず、ご飯も食べられなくなりました。見かねた知人が、天が落ちたり地がくずれたりするようなことはないと言明してあげると、この人はやっと安心することができたのです。

ア 完璧

イ 杞憂

ウ 漁夫の利





# 故事成語 4

故事成語の正しい意味がわかる

月 日  
名 前

■ 次の故事成語の意味としてあてはまるほうに○をかきましよう。

(1) 他山の石

他人のよくない言動でも、自分の行いをよくするた  
めの参考になること。  
他人のよい言動を見習って、自分の行いをよくする  
こと。

(2) 推敲

詩や文章をよくするために、言葉や表現を何度も考  
えて手直しすること。  
詩や文章のまちがいを見つけて、最初から書き直す  
こと。

(3) 破天荒

だいたんな行動をする様子。  
今までだれもしなかったようなことをすること。

(4) 知音

おたがいのことをよく理解している親友。  
友人から届いた手紙。

(5) 覆水盆に返らず

一度始まったことを、とちゅうでやめるのは難しい  
ということ。  
一度してしまったことは、取り返しがつかないとい  
うこと。

(6) 虎の威を借る狐

力の強い人の言いなりになること。  
権力がある人の力を借りていばる人。



■ 次の文の□にあてはまる故事成語を、意味を参考にして、□から選んで記号で書きましよう。

(1) これ以上話してしまうと□になる。……………  
意味 よけいなもの。

(2) 全ての小説の中で、□といわれるものを読む。……………  
意味 同じ種類のものの中で、特にすぐれているもの。

(3) □で、野球チームのコーチとしてむかえた。……………  
意味 仕事を引き受けてもらうように、特にうまいことだのむいど。

(4) ぼくとたかし君は、小さいころから仲のよい□だ。……………  
意味 幼なじみ。

(5) 兄が後ろ向きなことばかり言うので、不安な気持ちがある状態になるのを、やりに助けるいど。  
□された。……………  
意味 ある状態になるのを、やりに助けるいど。

(6) なまけていたことが先生の□にふれて、一時間説教された。  
□された。……………  
意味 目上の人のいかり。

(7) 計画が□だったせいで、全く予定通り進まなかった。……………  
□物事をいいかげんにするいど。  
意味

- |   |      |   |      |   |    |   |    |
|---|------|---|------|---|----|---|----|
| ア | 三顧の礼 | イ | 蛇足   | ウ | 助長 | エ | 杜撰 |
| オ | 白眉   | カ | 竹馬の友 | キ | 逆鱗 |   |    |

